

# 測度空間上のゲージ理論 ～ $\tau$ -情報幾何学 ～

田中 勝 (福岡大学)

- 可測空間上に導入可能な測度の集合をラドン=ニコデムの定理と  $\tau$ -平行移動を用いてアファイン空間にする
- ヘルダー共役を用いて双対空間を導入する
- 双対空間上に縮約を導入する
- くり込みを用いてエントロピーを定義する
- くり込まれた  $\tau$ -対数尤度との正規化された縮約として期待値を定義する



## $\tau$ -情報幾何学

$\tau$ -平行移動を大域的ゲージ変換群とするゲージ理論とみなせる  
(フィッシャー計量のゲージ変換の下での不変性を要請)